



MIYOSHI  
CENTRAL HOSPITAL

第6号  
2006年4月

市立三次中央病院だより

# 花みずき



暖かい春風と温もりのこもった  
絵手紙ありがとう



## 基本理念

私たちは地域の皆様から信頼され  
親しまれる病院を目指します

みんなて守ろう

# 未来を担う子どもたちの 安心・安全の365日 24時間 小児救急

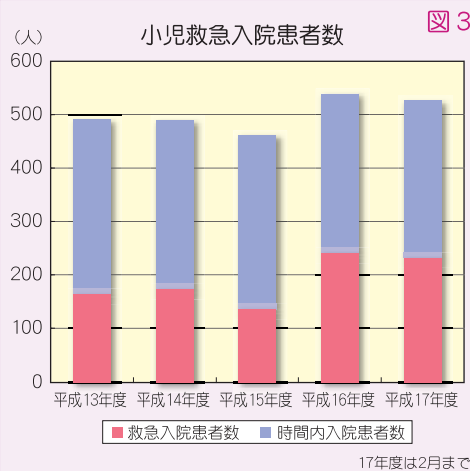
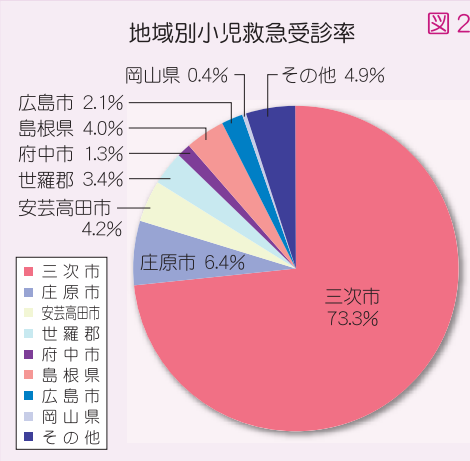
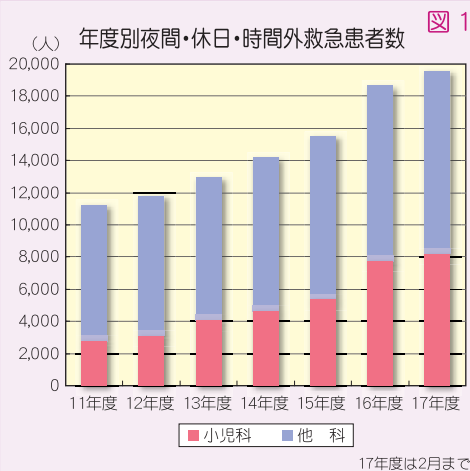


平成16年7月より24時間<sup>365</sup>日小児救急体制を開始してもうすぐ2年になります。小児救急患者の増加は全国的な傾向で、二次中央病院でも

図1の平成16年以前より小児救急患者数は増加していますが、24時間体制開始後はその増加に拍車がかかってしまいました。

図2は平成16年7月から1年間に来院された小児救急患者を地域別に示したものです。三次市内からの来院が74%と圧倒的に多いのですが、24時間体制以前と比べて三次市近隣の庄原市・安芸高田市・世羅郡・府中市・神石郡・岡山県県境・島根県県境の増加率が高く、どんなに遠方からでも小児科専門医の診察を希望されて受診されている状況がうかがえます。

また図3の、小児科の救急入院患者数もやや増加していますが、これは三次市近隣からの増加や時間内入院患者のシフト（従来は時間内に入院していた患者さんが、24時間体制後は救急で来院するようになった）



で、救急外来患者の増加に伴い入院の必要な重症患者が増えたわけではありません。こうした患者数の増加に対し病院の診療体制は、平成16年7月開始当初と変わりになく小児科常勤医は4名のままです。

全国的に小児科勤務医の不足が言われていますが、広島県も例外ではなく、県内の小児科勤務医が年々減少している状況から考えて、当院での増員はしばらく望めそうにありません。

救急外来の本来の目的は、病状が急変し救急対応を必要とする患者様の治療です。時間外ですから、平日と同じような診療体制が整っているわけではありませんので、治療や検査は必要最低限となりますこととはご理解ください。

当院の小児救急に受診される患者様の9割は軽症です。小児科医4名

「救急診療」へのご理解とご協力をお願いします！

で24時間対応を維持し、かつ重症患者様と入院患者様のための診療時間を確保するため、症状の安定している患者様には、一定の時間帯に来院していただくようお願いすることがあります。また、投薬も一日分あるいは休み明け分までとさせていただき、翌日ないし休み明けには、かかりつけ医を受診いただくようお願いしておりますことも、併せてご理解いただきたいと思います。

まだまだ満足できる診療体制とは言えませんが、せっかく始まった24時間体制を維持するためには、病院だけでなく、地域全体で小児救急医療を育て、守っていくことが大切です。受診されます皆様にもご協力ください。よろしくお願いします。

(小児科医長 大西博之)





# びっくりしないでね 大切な検査なのです!



## 外来採血患者様の9割は ●診察検査!!



当院の一日の外来平均患者数は約1,000人です。その内、約200人の患者様が、中央注射検査室で採血をされ、検査をされています。採血をされた患者様

の9割は《●診察》検査です。採血管をよく見てください。患者様の名前や、バーコードとともに《●診察》と印刷されています。この《●診察》と言う3文字には、「患者様は検査報告を待たれています。早く検査し、報告をしなさい」という意味が込められています。患者様の早期診断、早期治療を行うためには、今日受けられた検査を迅速に報告しなくてはなりません。そのため、採血後の検査結果は、

検査内容により異なりますが、概ね30分から1時間で「緊急検査報告書」として、各科に報告しています。

## 「エッ!そんなに血液を採るんですか?」

採血室で患者様に、今日採血される採血管の本数をお伝えすると、「エッ!そんなに血液を採るんですか?」というお言葉を、たびたび頂くことがあります。検査内容によって、血を固めて上澄みを調べるもの、固めないで血球を調べるものがあり、採血管の中には色々な薬が入っています。検査内容に応じた採血管が準備されますが、採血量は採血管1本につき、テイスプーン1杯から2杯分程度です。

また、当院で使用している採血管は約20種類ですが、主な採血管は、写真に掲載している4種類です。



- ①茶色のキャップ 肝機能や腎機能、栄養状態、肝炎等の感染症、腫瘍マーカー（腫瘍の盛衰に合わせて増減する物質）を測定します。
- ②灰色のキャップ 糖尿病の検査
- ③紫色のキャップ 白血球、赤血球、血小板を測定し、貧血の有無や白血病などの血液の病気を調べたり、血液型の検査を行います。
- ④黒色のキャップ 血液の止まりやすさを調べます。



これらの血液検査は、「迅速」「正確」をモットーに、24時間365日、外来、入院、健診、急患の検査を、臨床検査技師資格という国家資格を取得した技師が検査しています。

(検査科 熊澤鈴子)



## 花粉症



診療技術部長・耳鼻咽喉科医長

永澤 昌

### 1、花粉症の症状も色々あります。

花粉症は、花粉が原因によるアレルギー性で、粘膜皮膚のあるところにアレルギー症状を起こします。目のかゆみ（アレルギー性結膜炎）、くしゃみ・鼻水・鼻づまり（アレルギー性鼻炎）はよく知られていますが、それ以外にも色々な症状を引き起こします。

- ・のどがイガイガしたり、舌がピリピリと痛くなったりする口腔・咽頭アレルギー
- ・咳がでる、喉頭・気管アレルギー、気管支喘息
- ・下痢を起こす、アレルギー性腸炎
- ・めまい・耳鳴り・難聴を来す、アレルギー性内耳炎
- ・集中力低下や眠気

『春眠暁を覚えず』、と言いますが、「春はもうもだめだ。眠くてかなわん」という方は、案外花粉症であるかも知れません。春になるとめまいがする。あるいは腹の調子が悪い。という方も、花粉症かも…。

### 2、三次はスギ・ヒノキ花粉が多い

三次市では、今年は2月上旬からスギ花粉が飛散しています。大抵は4月上旬で終息しますが、それより1週から2週遅れて、今度はヒノキ花粉が飛散します。多くの花粉症持ちの方は、5月連休まで苦しむことになるわけです。

戦後すぐに盛んに行われた中国地方でのスギ・ヒノキ植林は、比婆西城の山地と芸北地域に集中して多く行われました。三次には、比婆西城から舞い上がった花粉が、海からの南風とぶつかって三次盆地にまとめて落下します。つまり、中国地方で、最もスギ・ヒノキ花粉飛散量の多い地域となっています。三次市民の皆様は、大変な花粉暴露地に住んでいるのです。

### 3、その他の花粉症

スギ・ヒノキ花粉症の季節が終わる6月中旬より初夏にかけては、雑草花粉症があります。イネ科の雑草で、カモガヤ（図1）が代表的です。

秋には、ブタクサ、セイタカアワダチソウ（図2）が繁殖し黄色い花を咲かせますが、これまた花粉症の方には、「毒草」としか見えないうつかりなものです。咲き始めたら、どなたかが刈ってくださいと有り難い、というのが本音です。いつぞや、知人宅を訪問したら床の間に活けてあったので、ぞっとした思い出があります。秋には、ヨモギも代表的な花粉症原因雑草です。

### 4、花粉症の治療と対策

症状にあわせた薬で、シーズンを乗り切るといふことになります。といっても一番大切なのは、**家に花粉を持ち込まない、ためないこと**です。

花粉症のあるかたは、めがね・マスクを装着することがもちろん大切ですが、**帰宅時には、服をはたいて花粉を落とすから家に入る。帰宅したらすぐ顔を洗い、うがいをする、できればシャワーを浴びる**、といった習慣が症状を軽くするコツなのです。花粉のつきやすい毛羽（けば）だった服をさける。室内はクリーナーを設置する。**花粉の多く飛ぶ日中には窓を開けない。こういった、原因花粉の暴露を少なくする工夫をしてください**。案外、薬なしで過ごせる方も多いでしょう。

薬については、かかりつけ医に是非ご相談ください。よろしくお願いします。



図1. カモガヤ(鴨萱) 6~8月に開花



図2. セイタカアワダチソウ(背高泡立草) 10~11月咲き



# あなたは目薬をうまく使えますか？

## 点眼薬の使い方・さし方のポイント



**1** まず手を石けんでよく洗い、清潔な状態で点眼しましょう。



**2** 天井を見るイメージで頭を後ろに傾け、下まぶたを軽く引き1滴点眼します。

また、片方の手で、親指を中に握りこんだ状態でけんこつを作って頬にあて、下まぶたを下げて、目薬を持った方の手をけんこつの上に固定して、容器の先が目に触れないよう、点眼する方法があります。

**目薬は、1滴入れれば充分に効きます。**

目の真ん中に入らなくても、下まぶたに1滴点眼できれば大丈夫です。

**3** 点眼した後は、目を軽く閉じ、目頭を3分以上軽く押さえます。

効き目を良くする事と、目薬が鼻を通つてのどの方向に流れ、薬が全身に吸収される事を防ぎます。



**4** 2種類以上の目薬をさす場合は、5分以上は間隔をあけます。

目薬が目から吸収されるのに、少し時間がかかる為です。

最初の目薬が点眼された後、目薬が目染み込まないうちに次の目薬を点眼すると、最初の目薬が押し出されてしまいます。

**5** 目から溢れた目薬は、清潔なティッシュペーパーなどで拭き取ります。

**6** 保管は、日光の直接当たらないところにします。

冷所で保管が指定されている場合は、冷蔵庫で保管してください。

冷蔵庫で保管になっている目薬で、旅行や会社で冷蔵庫に保管できない場合は、夏の車の車内や暖房器具の前には放置せず、日光の当たらない冷暗所で保管するよう心がけてください。

使用中の目薬は、1ヶ月位であれば室温で保存しても問題ありません。

以上のポイントに気を付けて、正しく点眼しましょう。

(薬剤科 大和茂雄)

## カードやシールで臓器提供の意思表示ができます

—いのちへの優しさと思いやりをカードで—

ご存知ですか

当院は、いのちに対する自己決定を尊重し、全力を尽くします。



「該当する1.2.3.の番号を○で囲んだ上で提供したい臓器を○で囲んで下さい」

1 私は、脳死の判定に従い、脳死後、移植のために○で囲んだ臓器を提供します。 (×をつけた臓器は提供しません)  
心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球・その他( )

2 私は、心臓が停止した死後、移植のために○で囲んだ臓器を提供します。 (×をつけた臓器は提供しません)  
腎臓・膵臓・眼球・その他( )

3 私は、臓器を提供しません。

署名年月日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

本人署名(自筆): \_\_\_\_\_

家族署名(自筆): \_\_\_\_\_

(印鑑であれば、この意思表示カードをもっていることを知っている家族が、そのことの確認のために署名して下さい)

書面(カード)で、自分で「臓器提供意思」を表示するものです。  
意志表示カードは、当院の総合窓口にも設置してあります。

研修医ノート

Vol.3

臨床研修医第2期生  
中原 隆志



私が市立三次中央病院を選んだ理由

はじめまして。研修医の中原です。早いもので、三次に来て1年が過ぎました。この1年、各科の先生方の指導のもと、また患者様との関わりを通じ、大変有意義な研修をさせていただいていると感じています。近年、漫画やドラマで取り上げられることの多い『研修医』ですが、現在の臨床研修のシステムは、従来の大病院から配属する形とは大きく異なり、全国の臨床研修指定病院の中から、自分自身で希望の病院を受験する方式に変わりました。その数ある中から私が三次中央病院を研修病院に選んだ理由は3つあります。まず1つは、ここが救急疾患に対応できる病院であったことです。三次中央病院は、1次から2・5次救急まで幅広く急患を受け入れてお

ります。そのため、習熟した技術と知識を持つ先輩医師たちが応対しています。

2つめは地域密着型の中核病院であることです。三次中央病院には備北地域はもちろん、島根県からも多くの患者様が来院されており、地域に根ざしたプライマリケアから高度医療まで、幅広い医療を行っているからです。

最後にこの病院が350床の中規模の病院であり、医師、ナース、スタッフの連携がとれ、チーム医療が展開しやすいのではと考えたからです。

以上の理由で中央病院にお世話になることとなりました。今年も患者様、諸先生方、ナースをはじめスタッフの方々との繋がりを通し、1年間頑張っていけますので、よろしくお願ひいたします。

- 注釈) プライマリケア・・・1次救急・初期医療(基本的な救急処置と診断)  
2次救急・・・専門的な診断・治療の医療業務を要するもの  
3次救急・・・大病院レベルの高度専門医療を要するもの



研修医ノート

Vol.4

臨床研修医第2期生  
松浪 勝昭



鮭は自分の生まれ  
た川に帰ってくる

平成17年4月より市立三次中央病院で研修しています。ただいま麻酔科を研修中です。三次市で生を受け、15歳で市外へ進学し、ほんの少しだけ遠回りをして再び生まれたこの地に帰ってまいりました。大学在学時から「研修は三次中央病院で」と決めており、今に至るところです。「鮭は自分の生まれた川に帰ってくる」という言葉があるように、私が旧双三中央病院で生まれた時から、この病院に帰り着く何らかの流れに乗ったのかもしれない。実は私が旧双三中央病院で生まれたことを医師国家試験の結果を待っていた時期に知りました。学生の頃は、自分が生まれた病院についてあまり興味を感じていなかったせいか、母からこ

の事を聞き、良い意味での驚きと何かしら運命的なものを感じています。(現在でも研修へのモチベーションの維持に一役買っています)

市立三次中央病院では、年間2、400件ほどの手術が行われております。そして、私は将来的には、麻酔科を専攻し、『外科的治療で救われる患者様の役に立ちたい』と熱望しています。麻酔科医は麻酔を行うだけでなく、術前訪問による患者様の不安な気持ちを和らげたり、治療に対する前向きな気持ちを高めたり、術後の疼痛コントロールに携わったりもします。見かけ上、患者様と接触する期間は短いのですが、その密度は濃い、そんな麻酔科医に心惹かれ、日々研鑽する充実な日々を送っています。

研修2年目を迎え、自身としては人間的に不器用で遅めの社会人生活にまだまだ右往左往しております。しかしながら、病を抱えながらも気丈に振舞われる患者様、そして経験豊かな医療スタッフとの数多くの出会いが現在の私の糧となっております。あらゆる面でまだまだ未熟でありませんが、今後とも患者様のために日々たゆまぬ努力を忘れぬよう励みたいと思っておりますので、これからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

## 研修医ノート

Vol.5

臨床研修医第2期生  
安田麻里子



### はじめての 担当患者さまのこと

平成17年4月から、市立三次中央病院で臨床研修をさせて頂いていきます。早いもので三次に来てもう1年になりました。

それまでずっと大阪で暮らしていたため、初めは慣れない土地で期待とともに不安もたくさんありました。特に言葉（広島弁？三次弁？）に対しては、正直、戸惑いを覚えることも多く、患者様やご家族とうまくコミュニケーションがとれず、歯がゆい思いをしたり、ご迷惑をおかけしてしまったこともありました。

しかし、先生方やスタッフの方々に恵まれ、今ではすっかり病院にも三次にも慣れることができ、毎日充実した研修を行っています。この病院で臨床研修医として2年間を過ごせることをとてもうれしく思っています。

ます。

私がこの1年間で最も印象に残っているのは、昨年4月から約1ヶ月半の間、呼吸器内科での研修をしていた時のことです。担当させて頂いた、初めての患者様のことですが、状態が落ち着いている時は、人生の先輩としていろいろなお話を聞かせてくださり、よく「先生、頑張ってくださいよ」と励ましてくださっていました。

呼吸状態が悪化して、亡くなられる直前のことです。部屋に伺った時、本当に苦しい状態であるにもかかわらず、笑顔になって「先生、来てくれたんだ、うれしいなあ。ありがとう。」と言ってくれました。それが私への最期の言葉でした。

私は疲れた時や辛い時には、いつもこの言葉に勇気づけられています。そして、初心を忘れず良い医師になれるように頑張ろうと改めて思いました。

これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



### 看護への思い（その5）

#### 信頼関係の大切さ



念願だった看護師の仕事が始めて1年が経とうとしています。看護師になったばかりの私は、患者様の状態や要望にすぐ対応できて、患者様にとって心地よい療養環境を提供する等と看護に理想ばかり求めていました。実際、日が経つにつれて見えてきたことがあります。

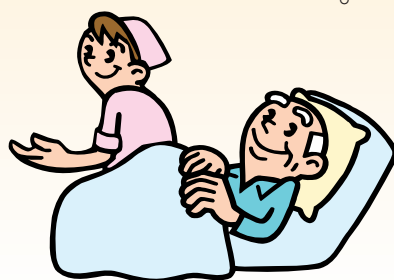
病棟では訴えることができない無言の患者様、痛みに苦しめられている患者様、しんどいはずなのに笑って「大丈夫よ」と言われる患者様、そして人生最期の時を迎えられた患者様と、そこに寄り添う家族の方との様々な出会いにより、生と死に向き合う大変さ、看護師としての責任の重さが私を襲いました。無知な自分がありました。

そんなある日、ある2つの出来事が私を奮起させました。1つは、注射がうまく入らず患者様からきつい一言：けれどその患者様が転棟される時、「頑張れよ」と一言、そして握手のプレゼントをもらいました。

2つ目は、意識がなく呼吸器のついた患者様と旦那さんとの会話。いつものように面会に来られていた旦那さんは横たわる奥さんに「早く一緒に帰ってご飯食べようね」と言われていました。手を握りながら…。

この2つの出来事は私の心にとても響き、患者様や家族との信頼関係、知識・技術、そして経験が必要だとひしひしと感じた1年でした。

患者様のニーズが高まり、情報があふれている中で、私のこれからの課題としては、「その人らしさ」を知るために、こちら側からのアプローチだけではなく、患者様はどうしたいのか、何を知りたいのかという、患者様の視点に立った看護を実践していきたいと思っています。



2階病棟 澤井 瑠美





## 患者のみなさまにやさしいお食事を ~えんげこんなんしよく 嚥下困難食~

当院では、脳血管疾患や老化にともなう「<sup>えんげ</sup>嚥下障害」や「<sup>そしゃく</sup>咀嚼機能低下（噛み砕く機能の低下）」の患者様が増えてきています。<sup>えんげしやうがい</sup>嚥下障害とは食物の飲み込みが難しく、喉につかえる、むせるなどの症状があり、普通の食事をとることが困難になることです。そのため低栄養や肺炎、窒息の危険性が高まります。そういう方のために食物の形態を変えて食べやすく、飲み込みやすく工夫したものを<sup>えんげこんなんしよく</sup>嚥下困難食といいます。

当院では次のように嚥下困難食を分類しています。

	一口カット	ムース食	ミキサー食 ゼリー食
かむ力 飲み込み目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歯茎でつぶせる</li> <li>● 硬く大きいものは食べにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 舌でつぶせる</li> <li>● 細かくまたは柔らかければ食べられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ほとんどかめない</li> <li>● 固形物は食べにくい</li> <li>● 時々むせがあり、のみ込みが困難</li> </ul>
調理形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 柔らかく調理したものを一口大にカットする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 柔らかい食材を使い柔らかく調理する。</li> <li>● とろみをつけたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ミキサーにかけペースト状にする</li> <li>● 増粘剤でゼリー状にかためる。</li> </ul>



写真は同じメニューです！ 「焼き魚と果物」

(栄養科 吉永洋子)



### 地域医療連携室のご利用について

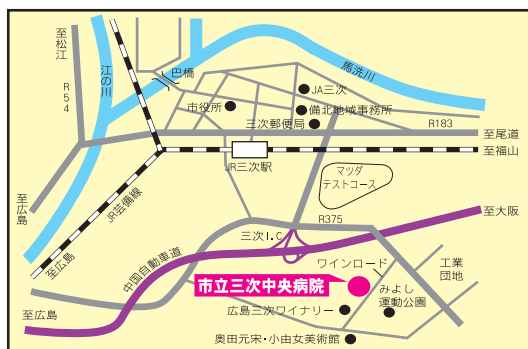
地域医療連携室は、地域の医療機関や福祉施設などと当院を結ぶ窓口です。

「かかりつけ医」さんなど、医療機関からの紹介患者様の診察のご予約を受け承っております。地域医療連携室を通してご紹介をいただくと、症状に応じた担当医師が事前に指定でき、また診療予約を取ることができます。

その他、さまざまな相談に応じております。

詳しくは下記地域医療連携室までお問い合わせください。

地域医療連携室(相談室) 1階医事室内  
TEL 0824-65-0239 FAX 0824-65-0159



バス…芸陽バス・備北バス・中国バス(JR三次駅から約10分)  
お車…JR三次駅から約6分、中国自動車道三次I.C.から約3分です。



保存版



市立三次中央病院

外来診療担当医師一覧表

外来診療  
受付時間

午前8時30分～午前11時00分  
(再診:午前7時30分～午前11時00分)  
※午後の診療は予約診療と特殊外来です。  
受付おたごねください。

休診日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)  
耳鼻咽喉科(水)・脳神経外科(火・木)

案内番号	診療科	月	火	水	木	金	特殊外来	
6	内科	第1診察	石丸 正平	末永 健二	石丸 正平	末永 健二	石丸 正平	◆糖尿病外来(月) 14:00~(要予約) ◆腹膜透析外来(水) 13:00~(要予約) ◆呼吸器外来(水・木)14:00~(要予約)
		第2診察	増田 憲治	河瀬 成穂	増田 憲治	河瀬 成穂	増田 憲治	
		第3診察	田中 幸一	田中 幸一	福田 幸弘	田中 幸一	福田 幸弘	
		第4診察	小酒 慶一	中井 訓治	浅井真理子	重岡 尚也	中井 訓治	
		第5診察	濱田 敏秀	日域 邦昭	濱田 敏秀	日域 邦昭	日域 邦昭	
		第6診察	藤原 舞	趙 成大	福山 耕治	趙 成大	橋本 義政	
		処方外来	福山 耕治	浅井真理子	小酒(河瀬)	藤原 舞	河瀬 成穂	
		人工透析	浅井真理子	浅井真理子	浅井真理子	浅井真理子	浅井真理子	
		内視鏡	趙・重岡	濱田・橋本	中井・橋本	石丸・中井	趙・小酒・浅井	
		心エコー	福田 幸弘	福田 幸弘	藤原 舞	福山 耕治	田中 幸一	
		腹部エコー	中井・橋本	石丸・小酒	趙・重岡	濱田・小酒	濱田・重岡	
		ペースメーカー			田中 幸一			
		心筋シンチ				福田 幸弘		
		巡回診療		重岡 尚也				
健診	第1診察	日域 邦昭	藤原 舞	日域 邦昭	増田 憲治	福山 耕治		
	第2診察	河瀬 成穂	増田 憲治	河瀬 成穂	浅井真理子	小酒 慶一		
救急診療科	午前	浅井(内)	福山(内)	小酒(内)	橋本(内)	藤原(内)		
	午後	河瀬(内)	橋本(内)	重岡(内)	藤原(内)	小酒(内)		
整形外科	第1診察	下垣 浩一	高田 治彦	下垣 浩一	下垣 浩一	高田 治彦		
	第2診察	大石 芳彰	大石 芳彰	高田 治彦	大石 芳彰	夏 恒治		
	第3診察		夏 恒治	中村 友彦	夏 恒治	中村 友彦		
外科	第1診察	甲斐 良樹	佐々木 秀	立本 直邦	甲斐 良樹	佐々木 秀	◆ストーマ外来(第2水)14:00~	
	第2診察	立本 直邦	小林 健	内藤 浩之	小林 健	内藤 浩之		
	第3診察							
耳鼻咽喉科	第1診察	永澤 昌	永澤 昌	手術	永澤 昌	永澤 昌	◆小児慢性疾患外来(月) 受付13:30~15:00 診療14:30~16:00	
	第2診察	野田 礼彰	野田 礼彰		野田 礼彰	野田 礼彰		
	第3診察	林 直樹	林 直樹		林 直樹	林 直樹		
眼科	第1診察	添田 祐	添田 祐	添田 祐	添田 祐	添田 祐		
	第2診察	足立 徹	足立 徹	足立 徹	足立 徹	足立 徹		
	午後	予約外来	手術	予約外来	予約外来	手術		
産婦人科	第1診察	赤木 武文	中郷賢二郎	赤木 武文	中郷賢二郎	赤木 武文	◆いきいき広場(木)13:00~15:00 ◆妊婦教室(第4火)13:00~15:00 ◆母乳外来(木)15:00~16:00	
	第2診察	三好 剛一	赤木 武文	三好 剛一	三好 剛一	中郷賢二郎		
	第1診察	丸山 聡	丸山 聡	小林 加直	丸山 聡	丸山 聡		
泌尿器科	第2診察		小林 加直		小林 加直	小林 加直		
	午後	手術	ESWL 予約検査	手術	ESWL 予約検査	ESWL 予約検査		
	午前	前田 元朗	前田 元朗	前田 元朗	前田 元朗	前田 元朗	◆慢性外来(水)14:00~16:00	
午後	検査	手術	慢性外来	手術	検査			
小児科	午前	第1診察	大西 博之	原 圭一	林 知宏	高下 敦子	大西 博之	◆慢性外来(火・金)13:45~16:00 ◆予防接種(火・金)13:45~16:00 ◆乳児健診(水)13:00~14:00 ◆心臓外来(木)14:00~
		第2診察	原 圭一	林 知宏	高下 敦子	原 圭一	高下 敦子	
		第3診察	林 知宏				原 圭一	
	午後	第1診察		大西 博之	原 圭一	大西 博之	大西 博之	
		第2診察		担当医	高下 敦子		担当医	
		第1診察	川本 行彦	手術	川本 行彦	手術	忽那 宗徳	
第2診察	渡邊 陽祐	忽那 宗徳	渡邊 陽祐					
歯科口腔外科	第1診察	芳村 喜道	芳村 喜道	芳村 喜道	芳村 喜道	芳村 喜道		
	第2診察	林 大祐	林 大祐	林 大祐	林 大祐	林 大祐		
麻酔科(ペインクリニック)	手術	柳谷 忠雄	手術	手術	手術	手術		

# 受診のご案内

## 総合案内

- ★エントランスホールにあります。
- ★受診される診療科がわからない場合、その他でもお気軽におたずねください。



## 来院

◆他院から「地域医療連携室」を通して初診予約されている方。

◆初めて来院された方。  
◆新たに別の診療科を受診される方。

2回目からの方

### 1 番窓口初診受付

受付にお出しください。

予約票 + 紹介状 + 保険証

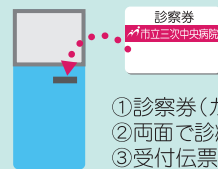
(担当者が診療科までご案内いたします。)

受付にお出しください。

保険証 + 診察申込書 + 問診票

ホール中央の記載台にあります

### 再来受付機



- ①診察券(カード)を入れる。
- ②両面で診療科・内容を選ぶ。
- ③受付伝票をとる。

※2つ以上の診療科で受診したい方は、行先順に受診科をご選択ください。

### 各診療科受付

- ◆初・再診受付を済ませられた方は、各診療科前の待合でお名前を呼ばれるまでお待ちください。
- ◆検査等が必要な場合は、別途ご案内いたします。

### 診察室

- ◆診察時には医師と相談のうえ、次の診療日を予約してください。
- ◆診察が終わりましたら、案内ファイル(診察券、総括表、検査伝票等)をお渡ししますので、各ブロックの受付までお持ちください。

### 6 7 8 9 番窓口ブロック受付

- ◆各診療科の受付に案内ファイルを提出して、お待ちください。(検査等の行き先もれチェックや会計入力をします。)

### 4 番窓口計算

- ◆案内ファイルを提出してください。(支払いの該当無し)も、ここで判断します。)
- ◆支払いの該当が無い方は、ここでお薬引換券、予約券をお受け取りください。

### 5 番窓口支払

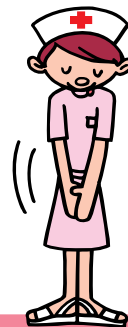
- ◆診察券を提出して医療費をお支払い後、領収書、お薬引換券と予約券をお受け取りください。

### お薬窓口

- 【院内処方の方】お薬ができましたら投薬掲示板で番号をお知らせしますので、お薬引換券でお薬をお受け取りください。
- 【院外処方の方】9000番台のお薬引換券は院外処方の引換券です。当院の薬剤科窓口で院外処方せんを受け取り、院外調剤薬局にお出してください。

お支払い・お薬が共にならない方

お支払いはこの無償の窓口で済ませてください



帰宅

